



# 愛知県立旭丘高等学校漕友会会報

第7号 平成 18年 3月 11日 発行

発行者: 〒461-0032 名古屋市東区出来町3丁目6の15

愛知県立旭丘高校内 愛知県立旭丘高等学校漕友会

TEL:052-721-5351 FAX:052-723-6825

事務局e-mail: yyyama@z2.zzz.or.jp 山本芳敬(旭丘27回)

chu@ma..ccnw.ne.jp 丹羽忠司(旭丘8回)



## ご あ い さ つ

旭丘漕友会会長 長谷川 誠 (7期)

会員の皆様にはお健やかに過ごしてございましょうか。昨年は禍福交ぜに多事でありました。今年はもう少し穏やかに進んで欲しいと願いはするのですが、耐震強度偽装建築の問題は続き、景気回復の兆しと素直に喜んでいた株価上昇には、ライブドア・ショックが水をさしました。更に恐ろしい何か潜んでいるような気がするのとは年を取った所為でしょうか。

先にご案内致しました通り、恒例になった正月3日に、漕友会の年次総会と新年会を開催致しました。会は、昨年11月逝去されました渡辺昇前会長への黙祷から始まりました。残念ながら一中先輩のご出席は得られませんでした。旭丘高校の岡田順一校長がご出席下さり、旭丘一桁卒の年代から現役の生徒まで、60名程の男女会員の出席がありました。昨年、長良川で行われた世界選手権に出漕した川浦君(旭54期)も参加してくれました。

昨年の現役は、全国大会での華々しい結果こそ無かったものの、連日熱心な練習を重ね、多くの大会やレースに相当の成果を収めました。

山本・片山・青山、三人の監督・コーチの先生方は、交代で艇庫に出向き毎日の練習を見守り指導して頂きました。誠にご苦労様で有難いと思います。

OBの方も、愛知池・諏訪湖そして中川運河でのレースに出漕し、琵琶湖での遠漕も行いました。

12期(63~4歳)を中心に7期(69歳)の私まで、60歳超えの年配者達は、その為に3月から11月までの、毎週土曜日、都合の付く者が中川運河に出向いて乗艇しました。週一回の手探り練習ながら、フィックス艇しか経験していない者達が、スライディングシート・ナックルフォア・レースを全国レベルで競い、シェルフォアやダブルスカルにも漸く乗ることが出来るようになって参りました。

滋賀県今津町所有のフィックス艇での琵琶湖一泊遠漕会は、懐かしさいっぱい恒例行事です。



ところで、一中60回の伊藤弘之先輩から「安定性が増しスピードが出ると考え、シートを5cm下げたダブルスカル艇を造りました、試乗してみてください」と添え書きのある年賀状を頂きました。伊藤先輩は唯今もお仲間と中川運河で漕いで居られます。

会員の皆様には、老若共に、もっとボートに近づいて下さったら如何でしょうか。

「心を一つにして仲間と漕いだ思い出」「激しい練習に耐え抜いた自信」。

古い方達には心の芯にいつもあった筈のボート、そして、若い人達には、恐らくこれからも難関にあって自分を支えてくれる筈のボートに、一層の思いを寄せて頂きたいと思います。レースにも、練習にも気軽に参加して下さいるように、後輩達の活躍に更なるご支援を賜ります様に、心から念じお願い申し上げましてご挨拶と致します。

## 2004年 漕友会定期総会および新年会について(報告)

幹事 伊神 基博 (12期)

1月3日、名古屋駅前の「百楽」において、恒例となりました漕友会定期総会を開催いたしました。

当日は、長谷川会長始めOB・OG会員54名と大学受験を控えた3年生を除く、1・2年の現役ボート部員23名(全員)を加えた77名の会員に出席いただき、予定した5件の議題を審議し、役員会からの提案どおりの内容で、承認・可決いたしました。

承認・可決した事項は、2003年事業報告 同決算報告 役員選任 2004年事業計画 同予算ですが、その中で、従来幹事長ひとりに集中していた漕友会の運營業務を、5人の幹事で分担する体制としたことと、現役支援策の1つとして新艇の寄贈を行うこと(寄贈式：5月5日中川運河艇庫にて挙行)を、特記事項として報告しておきます。



なお、新幹事長の丹羽忠司氏(7期)が、2004年の事業計画の提案に際して、名古屋大学艇友会が昨年英国ヘンレーコースで漕いだことに倣い、「マスターズ世界大会への出漕もしくはヘンレーでボートを漕ぐことをめざし、スカル艇・シェル艇での乗艇練習をはじめよう」と、呼び掛けられた。“初春の夢”としてもオアズマンとして壮大で前向きなロマンであり、それを正夢とすべく小生も微力ながら協調したいと思っております。

総会に引続く新年会では、現役の諸君から、自己紹介と今年の抱負および2003年を超える成績を目標とする、との力強い決意表明が異口同音であり、その都度先輩会員から温かい激励のエールと拍手が贈られた。

OG・OB 会員も出席者全員が、若い人から順に近況報告を行った。

最後に、愛知一中校歌「山には虎狼群がりて」と「旭丘高校校歌」を全員で大合唱した後、岡田校長の発声により万歳を三唱し、散会した。

[ 現役生徒から今シーズンの活躍を期して決意表明の発表がありました ]



壇上に登った現役生徒

左から

- 神谷(2年)
- 近藤(2年)
- 山田(2年)
- 久保(2年)
- 竹内(2年)

山田 真	一步先の自分を何度も越えて、精神面・体力面を高めていきたいと思えます。今年もよろしくお願ひします。
近藤 洋平	どんな時も自分に厳しくして、レースでは良い結果を残せるように、毎日の練習をがんばっていきます。
竹内 裕貴	実力をつけて今年こそはインターハイに行きます。応援よろしくお願ひします。
神谷 知宏	裏で支えてくれている人々への感謝を忘れずに楽しく頑張ります。
久保 悦子	いよいよ引退、悔いは残したくありません。頑張ります。
加藤 だい貴	今年こそ表彰を受けます。一度は県大会を突破します。
宮本 兼吾	旭丘のボート部に誇りを持てるように強いボート部を引き継いでいきます。
鰐部 弘章	最小ながらどこから出てくるかわからないぐらいのパワーを出してがんばります。
小嶋 俊太郎	勝つのはもちろん気持ちよく漕いでいきたいです。

## 平成 17 年漕友会事業報告

- |                 |       |                      |    |
|-----------------|-------|----------------------|----|
| 1 . 漕友会総会       | 1月3日  | 「百楽」                 |    |
| 2 . 「漕友」発行      | 2月26日 |                      |    |
| 3 . 中川運河ロングレース  | 3月28日 | 中川運河小栗橋～艇庫           |    |
|                 |       | KF 2艇、W 1 X 1艇       | 出漕 |
| 4 . マスターズレガッタ   | 4月25日 | 愛知池漕艇場               |    |
|                 |       | KF 3艇、W 1 X 1艇       | 出漕 |
| 5 . 信毎諏訪湖レガッタ   | 5月16日 | 下諏訪町漕艇場              |    |
|                 |       | KF 1艇、W 1 X 1艇、W 2 X | 出漕 |
| 6 . 名古屋市民スポーツ祭  | 8月3日  | 中川運河漕艇場              |    |
|                 |       | M 1 X 1艇、W 1 X 1艇    | 出漕 |
| 7 . 琵琶湖周航       | 8月28日 | 琵琶湖 今津～竹生島 往復        |    |
|                 |       | FIX 1艇               |    |
| 8 . 名古屋レガッタ     | 9月19日 | 中川運河漕艇場              |    |
|                 |       | KF 2艇、M 1 X 1艇       | 出漕 |
| 9 . インターハイ優勝祝賀会 | 9月26日 | ホテルアソシア名古屋ターミナル      |    |

KF : ナックルフォアー      FIX : フィックス      M 1 X : 男子シングルスカル  
W 1 X : 女子シングルスカル      W 2 X : 女子ダブルスカル



“中川運河ロングレース” ゴール直前 KF (全員 12 期) クルーの力漕  
左から C 谷村、S 千田、3 深山、2 友松、B 伊神、

2005年度旭丘高等学校漕友会会計報告(2005年1月~12月)

2005年度決算報告			
収入の部		支出の部	
前期繰越金	1,497,608	総会費	350,000
年会費	410,000	現役助成(1)	150,000
寄付金	486,000	現役助成(2)	150,000
ご祝儀等	21,000	「漕友」発刊費	76,805
雑収入	16	レース出漕費	127,000
行年会費	367,000	対外協会費	3,070
		漕艇S借艇費	120,315
		対外行事費	55,660
		通信費	63,040
		事務消耗品費	2,544
		HP維持費	0
		雑費	58,210
		世界ポート関連費	80,120
(収入小計)	1,284,016	(支出小計)	1,236,764
		次期繰越金	1,544,860
収入の部合計	2,781,624	支出の部合計	2,781,624

貸借対照表			
借り方の部		貸し方の部	
科目	金額	科目	金額
郵貯普通預金	1,273,023	次期繰越金	1,544,860
郵貯振替口座	227,280		
現金	44,557		
計	1,544,860	計	1,544,860

以上の通りご報告いたします。

2006年3月1日

会計担当幹事 友松 靖夫

監査意見書

財務諸表、証憑等関係書類照合監査の結果、いずれも適正に処理されており経費の使用運営についても妥当なものと認めます。

2006年3月1日

監事 桑山 栄一

監事 家田 安啓

2006年度予算計画			
収入の部		支出の部	
前期繰越金	1,544,860	総会費	400,000
年会費	600,000	現役助成(1)	200,000
寄付金	400,000	現役助成(2)	1,800,000
行展会費	400,000	「漕友」発刊費	75,000
		レース出漕料	100,000
		対外協会費	3,070
		市協借艇料	30,000
		対外行事費	100,000
		通信費	60,000
		事務消耗品費	5,000
		H P 維持費	15,000
		雑費	50,000
		(支出小計)	2,838,070
		次期繰越金	106,790
収入の部合計	2,944,860	支出の部合計	2,944,860

以上

### 2006年度漕友会費及び寄付金のお願い

平素は旭丘漕友会活動への参画運営に特段のご協力ご尽力賜り厚く御礼申し上げます。一昨年度は旭丘高校ボート部の名を全国に轟かせたクォドルプルインターハイ優勝の快挙に沸き、OB関係者集い現役ボート部員選手の顕彰と激励の祝勝会を催した事記憶に新しいかと存じます。

漕友会活動の主たる目的は現役ボート部への後援です、今年度はインターハイ・国体等に向けて練習する部員へクォドルプル艇の贈呈を計画しておりますので年会費5千円(学生3千円)ならびに寄付金等特段のご協賛を賜りますようお願い申し上げます。(会費・寄付金の納入に就きましては同封の郵便振替用紙で4月末まで位にお願い申し上げます)

## 2005年度会費及び寄付金納入者ご芳名

(敬称略 入金順 単位：円)

お名前	金額	お名前	金額	お名前	金額
長谷川誠	10,000	斎藤敏彰	5,000	森田哲也	5,000
谷村龍児	15,000	三好秀吉	10,000	石川隆之	5,000
伊藤壽洪	30,000	篠田朱里	15,000	水野義則	5,000
杉山章	5,000	奥村信太郎	3,000	岡部好男	5,000
川本義昭	20,000	河村剛	10,000	水谷晃	5,000
家田安啓	5,000	服部慶子	10,000	渡辺浩司	10,000
稲田昭	5,000	鈴木道辰	5,000	伊神基博	20,000
加藤信介	5,000	加藤澄一	50,000	川浦慎平	5,000
脇田弘仁	100,000	河村直彦	10,000	吉田有香	10,000
福井政彦	5,000	丹羽忠司	10,000	志水修	12,000
間正博	5,000	加藤庸之	10,000	久田敏夫	5,000
堀悟	20,000	近藤富夫	5,000	岡林大祐	5,000
友松靖夫	10,000	中川亮	6,000	坂田隆氏	10,000
小畑雅裕	5,000	早川真夫妻	10,000	桑山栄一	30,000
前田路矢	3,000	石井敏彦	5,000	伊藤弘之	10,000
大田均	10,000	前田純郎	5,000	丹羽忠司	15,000
安田治郎	5,000	竹川昌和	10,000	吉田糾	10,000
川島光晴	5,000	笹山洋文	10,000	千田勝二	10,000
吉田有香	10,000	近藤千真	5,000	斎藤敏彰	5,000
荒川三郎	10,000	尾関繁俊	20,000	鈴木邦治	5,000
尾石紀之	10,000	深山靖	10,000	澤木秀夫	5,000
長崎博三	10,000	山本芳裕	3,000	三好秀吉	10,000
澤木秀夫	10,000	水野薫	3,000	河辺太加志	10,000
弓削洋平	3,000	玉本晃	10,000	池田慎司	5,000
右高金守	10,000	成瀬真吾	3,000	川浦慎平	7,000
溝田輝彦	5,000	吉倉孝也	5,000	竹川昌和	10,000
内藤晴二	5,000	樋口毅	10,000	谷村龍児	10,000
萩子昌	10,000	平岡徹太郎	3,000	山崎雅彦	5,000
渡辺浩司	10,000	阪井光	5,000	小川秀樹	5,000
中浜幹人	15,000				

## 平成18年旭丘漕友会事業予定

- |                             |          |                           |
|-----------------------------|----------|---------------------------|
| 1. 漕友会総会                    | 1月 3日    | 中国大飯店                     |
| 2. 「漕友」発行                   | 3月11日    |                           |
| 3. 中川運河ロングレース               | 3月19日    | 中川運河<br>小栗橋～艇庫            |
| 4. 信毎諏訪湖レガッタ                | 5月13～14日 | 長野県<br>下諏訪町漕艇場            |
| 5. マスターズレガッタ                | 5月21日    | 岐阜県海津市海津町<br>長良川国際レガッタコース |
| 6. 琵琶湖周航                    | 7月29～30日 | 滋賀県高島市<br>今津町～竹生島～菅浦港     |
| 7. 名古屋市民スポーツ祭               | 8月 6日    | 中川運河漕艇場                   |
| 8. 津高校艇友会対抗レガッタ             | 9月 3日    | 三重県多気郡<br>宮川村 三瀬谷ダム漕艇場    |
| 9. なごやレガッタ                  | 9月17日    | 中川運河漕艇場                   |
| 10. グリーンチャンピオンレガッタ          | 10月22日   | 愛知池漕艇場                    |
| 11. ボート競技発祥の地、イギリス・エンレーにて試漕 | 9月下旬     |                           |



“世界ボート選手権大会” 男子クォドルプル予選レース  
手前クルーの2番漕手が旭丘54期 川浦慎平君



## 旭丘高校漕友会執行役員

2006年度執行役員は昨年に引き続きの担当を引き受けていただくことで承認されました。

会 長	長谷川 誠	( 7 期)		
副会長	尾関 繁俊	( 1 0 期)		
"	田淵 哲雄	( 1 9 期)		
幹事長	丹羽 忠司	( 8 期)		
会 計	山本 芳敬	( 2 7 期)		
幹 事	友松 靖夫	( 1 2 期)	( 経理担当)	
"	伊神 基博	( 1 2 期)	( 総会、技術指導)	
"	谷村 龍児	( 1 2 期)	( 会報『漕友』担当)	
"	伊藤 壽洪	( 1 2 期)	( 総務、レース担当)	
"	佐分 敦郎	( 2 3 期)	( 広報、レース担当)	
"	河村 剛	( 3 5 期)	( レース担当)	
"	樋口 満	( 1 9 期)	( 東京担当)	
"	川本 義昭	( 1 4 期)	水谷 晃	( 1 8 期)
"	杉 光	( 2 1 期)	関口 藤太	( 2 3 期)
"	高木 浩司	( 2 4 期)	佐藤 綾人	( 4 4 期)
"	森田 哲也	( 4 5 期)	服部 慶子	( 4 7 期)
監 事	桑山 栄一	( 1 9 期)	家田 安啓	( 2 7 期)
相談役	清水 修	( 一中 6 3 回)		
"	久田 敏夫	( 一中 6 3 回)		
顧 問	山本 芳敬	( 2 7 期)		
"	片山 元	( 3 7 期)		
特別会員	青山 美紀	( 旭丘高校ボート部コーチ)		



# 人生 意気に感ず

愛知県立旭丘高等学校長 岡田 順一

漕友会の皆様には、旭丘高校ボート部の活動に対しまして、日頃からさまざまな温かい御支援を賜り、心から御礼申し上げます。

私は、昨年4月に、野々部前校長先生の後を継ぐようにとの辞令をいただき、本校に赴任いたしました。ボート部の諸君が毎日熱心な練習に励んでいる様子に、ふと40年ほど昔、級友が校庭の東側、当時の化学実験室横で、木製のボートに似せたトレーニング器具を力強く漕いでいたのを思い出します。



本年度も鈴木大地君の高校総体出場をはじめ、多くの選手がさまざまな大会で健闘いたしました。長良川で開催された世界ボート選手権には、漕友会のメンバーが大活躍をされるとともに、本校職員・生徒が裏方として立派に責任を果たしたことも記憶に新しいところであります。

現役のボート部の諸君には、『唐詩選』の巻頭を飾る雄壮な調べの結びの句を送り、より高い目標に向かって日々精進されることを期待します。

「人生 意気に感ず。 功名 誰かまた論ぜん。」

本校ボート部の歴史と未来は、漕友会の皆様の御支援の賜であり、重ねて厚く御礼申し上げますとともに、漕友会の今後一層の御発展と会員の皆様の御多幸を心から祈念申し上げます御挨拶といたします。

## “Yes, I can speak English” (2005年の活動を振り返って)

顧問 片山 元

2005年の幕開けは3月の天竜での全国選抜大会でした。男子シングルスカル1名だけの参加で、引率教員の方が多く、選手の鈴木大地君はプレッシャーを感じていたと思います。1年前の同大会のときに比べて漕ぎも上手になり、決勝への進出を期待しましたが、準決勝で残り500mからじわじわと追い上げられてしまい、3位となり悔し涙を流すことになりました。そして、雪辱を果たすべく、身体のけがにも負けずに練習

に励み、6月の東海総体では2位に入賞して、8月の全国総体を迎えました。2005年は千葉県小見川町で開催され、3年前に全国総体のあった茨城県潮来と同じ利根川の分流である阿玉川で競漕することになりました。予選の調子が良くなく、敗者復活にまわりましたが、これを1位で通過しました。勝負をかけた準々決勝で精一杯全力を出し漕ぎきったものの、2位以内に入ることができず4位となり、最終日を前にして終わりました。私も残り100mの地点で声を出し続けましたが、挽回するには差がありすぎたようです。最終日には決勝を観戦し、猿投農林の全国優勝を見届けてから帰名しました。



2005年は世界ボート大会が長良川で開催されました。8月中旬から9月初旬までほぼ3週間、ボランティアとして生徒を連れて毎日通いました。私は、初めは既に現地入りしていたニュージーランドチームの乗艇練習に、危険の無いようにモーターボートで追走していました。公式練習期間中は、アクレディテーションと呼ばれるIDを発行する部署の手伝いをしました。デジタルカメラを用いて証明写真を撮影して、即プリントして渡す作業でした。英会話の不安がありましたが、身振り手振りでもなんとかかなるものだなあということ、反対にフランスの選手にメルシーと言ってもアリガトウの意が通じなかったこと、オールメーカーのクローカー社の社長夫婦に会えた事が印象深かったです。試合期間に入ってから、コントロールコミッション裏で待機し、変更選手の写真を撮ったりもしました。試合も佳境となり、FISAから要請があったフォトマージャーと呼ばれる報道機関に所属するカメラマンを監視する仕事を任されました。スタート地点の桟橋で、各レース2分前になったら「ブリーズ、シットダウン。ドント、ムーヴ」とコールしていました。スタートシグナルから1m離れてくださいと英語で注意したら、素直に「スミマセン」と日本語で返してくれたフィンランドの方、中継の妨げとなるので日傘を閉じてくださいと指摘しても、なかなか閉じてくれず、説得するのに苦労したどこかの外国の方、他にもいろいろな国の方が写真を撮っていました。もう少し英語に慣れていればうまくコミュニケーションとれていたのにと、英語力の無さを痛感した次第です。決勝はゴール地点での監視でした。コメンテーターの乗った中継車が走るので、その邪魔にならないようカメラマンを座らせるのが仕事でした。ほとんどの方が協力的でした。が、なかには注意をしても「ホワイ？」とルールを守ってくれない方、より良い写真を撮るために、大画面モニターにまで登って撮ろうとするイタリアの方もいて、皆貴重な体験の数々でした。

1,2年生男8人女1人と少ないながらも、先輩からよき刺激を受け、毎日元気に運河で練習に勤しむ、今のボート部員たちは、私が高校生だったころに比べて英語教育も良くなり、国際化も進んで英語に触れる機会も増え、聞くも話すも格段に私より上手です。今回の経験を機に私も、言葉の壁を越え、海を越え、外国に行ってみたいと思うようになりました。また昨年、競漕規則も一部変更となり、試合のスタートは「用意、Go」から「Attention、Go」と完全に英語となりました。漕友の皆様、出漕する際にはお気を付け下さい。最後に問題です。下線を引いたらラ、リ、ル、レ、ロは、Rでしょうか？今年も、応援のほどよろしくお願いいいたします。

## 世界ボート選手権 雑感

丹羽 忠司（8期）

“ワッー何！ この高さは？”

見上げるばかりの大男、バスの天井に頭がつかえそう。ゲンコツ一つ分ぐらは空いているのかなあ。

“これでは勝てっこないやー！”

9月3日、桑名駅から会場の木曾三川公園までのシャトルバスに乗っていたら、朝早かったせいもあって、試合に出る選手たちが次々と乗ってきた。そのデカサに圧倒され、前日日本が大差で負けた理由も納得できた。



今日は世界ボート選手権大会6日目、決勝戦初日、と同時に『旭漕の日』。

アジアでの初めての世界大会、それも愛知と岐阜の県境近くの木曾三川公園・長良川国際レガッタコースでの開催。

こんなこともあり、協賛で100枚ほどの入場券を購入し、旭漕の日を設定、希望者に配布したところきれいに無くなったので、当日は沢山の人達が来てくれると期待し、飲み物・そんな関係もあって愛知県からも沢山の人達が役員に動員され、わが旭漕関連でも旭丘高校山本顧問以下のボート部、12期の伊神基博氏、また選手側としてもクォドルブルに出場する川浦慎平氏（54期）、コーチとしての杉藤洋志（39期）など多士済々。

食べ物たっぷり用意。尾関副会長夫妻（10期）、桑山栄一氏（19期）、渡辺豊氏（19期）、河村剛氏（35期）などに手伝っていただき、朝早くから重い荷物運びと会場設営にご協力いただきました。



家族を含め臨時特別席に集まった旭漕会の人たち（レース観戦？ それとも談笑？）

当日は天気もよく、無料席の草っ原に敷いたシートの上でビールを飲みながらの楽しい観戦でした。折角買った入場券もほとんど利用されず、みんな草っ原のシート席に参集、臨時旭漕会総会でした。ちょっと残念だったのは参加していただいた人が予想より少なく、ビールがいっぱい残ったことです。

なお、この企画立案から細々としたマネジメントまで、すべてを取り仕切っていただいた伊藤寿洪氏(12期)に心より感謝申し上げます。



左：世界ボート選手権開催特別号の新聞、右：入場チケット

## 中川運河整備事業で生まれ変わる漕艇センター周辺

名古屋港管理組合議員（愛知県議） 高木ひろし（24期）

旭丘高校ボート部が練習とレースの場として長年にわたり利用してきた中川運河。私たちが毎日フィックス艇を、後にはナックル艇を浮かべて漕いでいたこの運河は、30年前と大きく様変わりした。1993年に名古屋港漕艇センターの完成、翌年にはいろは橋がかかり、1999年から5年間かけて、東海橋も立派に架け替えられた。水運利用は激減し、代わって都心貴重な水辺空間としての整備、開発が着々と進められている。

この運河とその沿岸を所有管理するのは名古屋港管理組合であり、漕艇センターも同組合に所属している。私は今年度この組合議員として運営に参画する機会を得た。この機会を活かして、少しでもボートというスポーツが市民や学生に快適に親しまれるよう発言をしてきたつもりである。その成果の一端として、現在の整備計画の進捗状況をこの紙面を借りてご報告したい。

中川運河再開発基本計画は、漕艇センターが完成した1993年に管理組合によって決定され、笹島から名古屋港を結ぶ8.2キロ（幹線6.4キロ、東支線1.1キロ、北支線0.7キロ）を名古屋市民にとってゆとりと潤いのある水辺空間として生まれ変わらせる壮大な計画である。2010年ごろの完成をめどに、総額600億円を投入する予定である。東海橋以南の「中川口ゾーン」は、漕艇センターとその周辺緑地を「名古屋レガッタ」などのボート競技やイベントを楽しむことができるよう整備するとされている。

このゾーンの沿岸に設置されていた倉庫や資材置き場は順次、公園用地として管理組合に返還され、整備が進んでおり、2006年度中には緑地、駐車場計60台分（うちレガッタ用臨時30台）を備えたいろは橋以南の両岸部分が公園として供用される予定である。レガッタゴール地点付近には160人程度が座れる観戦用スタンド階段が東岸に設備される。今年の市民スポーツボート大会（8月）



中川運河河口付近の整備計画完成予想鳥瞰図

や名古屋レガッタ(9月)は、見違えるように整った環境で大いに盛り上がることだろう。これまでも臨時駐車場として使用していた、いろは橋北側西岸の2000平米ほどの敷地の整備と供用はあと2年後になるが、臨時駐車場51台分を含む「多目的広場」となる予定だ。

こうした構想とその実現には、名古屋市ポート協会をはじめとする多くの関係者の要望や助言が元になっているが、完成すれば、日本の他の都市にはない、名古屋独特のポート競技のメッカとして生まれ変わるだろう。ポーツポーツの醍醐味を少しでも知る議員として、私もこの仕上げに貢献できれば幸いである。



現在の中川運河:名古屋港上空からの眺望

## “津高校艇友会対抗レガッタ”復活

津高校艇友会対抗レガッタは、艇友会の事情によりしばらく中断しておりましたが、今年になって艇友会から復活させたいとの申し出がありました。2月15日に旭丘漕友会と津艇友会との打ち合わせが行われました。その結果、平成11年以来7年ぶりに対抗レガッタの復活が決まりました。

今年は岩田川が洪水の後遺症により使用が出来ず、三重県多気郡大台町宮川の「三瀬谷ダム漕艇場」にて開催されることになりました。当日は、艇友会のご配慮により、(JR,近鉄)津駅より特別バスを仕立てていただけることになっています。旭丘漕友会から一人でも多くの参加を希望しております。

尚、1月15日に行われました打ち合わせ会の出席者は下記の通りです。

- 旭丘漕友会 : 長谷川会長、尾関副会長、田淵副会長、丹羽幹事長  
、伊神幹事  
津校艇友会 : 中原会長、前川副会長、久世事務局長

## 平成 17 年度 “琵琶湖遠漕” 余談

滋賀県立高島高校オアズマンの熱血

谷村龍兒（12 期）

恒例となった「琵琶湖周航行事」は 7 回目となりました。今回は 7 月 30（土）～31 日（日）に行いました。今津を出て、竹生島を經由し、菅裏までの片道 20 キロメートルを一泊で往復するコースは例年と同じです。前年は参加者がわずか 8 名でしたが、今回は 12 名の参加者があり、交代要員やモーターボートの支援などにも余裕が持てました。

珍しく二日間共に風も波もなく、おだやかな天候に恵まれましたが、二日目の正午前、今津の浜まで残り数百メートルのゴール直前というところで、にわか暗雲が垂れ込み、遠雷が聞こえると思っていた矢先に突然の突風とにわか雨に見舞われました。



竹生島をバックに休息中のクルー

ボートを艇庫の前に着けたものの、腰を上げたとたんに横波を受けるボートの中でひっくり返る者もあり、降りることも困難な状況になりました。そんな時、艇庫の中にいた高島高生数名が激しい雨の中をこちらに向かって走って来たかと思ったら、そのまま躊躇もなく水の中に入ってきてボートをつかみ、さらにはボートを陸上まで引き上げる作業を手伝ってくれました。

ただでさえフィックス艇のため重量があって毎年苦労して陸揚げしている上、今回は波によって水が入って一層重くなり、「本当に助かった」ということだけでした。

それから数日が経過し、高校の夏休みも終了するという頃になって、当日の参加者の一人、谷村がそのときの高島高校ボート部員たちへの感謝の気持ちを伝えるため学校長宛に手紙を出しました。その手紙の内容を「琵琶湖遠漕余談」として紹介します。

前略、突然のお手紙で失礼致します。

私はこの夏休み期間中に貴校ボート部員とスポーツマンシップに則った清々しい出会いを体験しましたのでご報告させていただきます。

それは 7 月 31 日のことでした。私は名古屋市旭丘高校ボート部 OB の有志により、琵琶湖にて二日間のフィックス艇での遠漕を楽しんでいました。二日目の当



日は高月町菅裏を出港し、竹生島を経て終着地である今津町に戻った時のことでした。もうあとわずか5分ほどで浜に到着出来るという時、折悪しく上空に黒雲が広がり、突然の大粒の雨と共に雷も鳴り始めました。ボートが艇庫のある浜に着いた時は波が高く、横波を受けるボートの中で転倒する者がいたりして、岸に上がるのも困難な状況でした。

私自身もボートに取り付けられた舵が岸に当たって壊れてはいけないと腰を浮かした瞬間、ボートから水面に叩き落とされました。それでも身に着けていた時計やメガネを守るより腰まで水に浸かりながら夢中で舵を取り外していました。

その時のことです。艇庫の中にいた高島高校ボート部・男子部員数名が浜まで走って来たかと思ったら、ユニフォーム姿のまま胸まで水につかりながらボートを艇庫まで引き上げる作業を手伝ってくれました。ドシャ降りの中、私達が頼んだりする間の無い状況の中での出来事でした。私達ボート乗艇者9人が56歳から68歳までの高齢者であることは、ドシャ降りの中でははっきり認識出来た訳でもないのに、何等躊躇することなく水の中に飛び込み手を貸してくれた高校生達の心意気に心を打たれました。

直後、甲子園での高校野球において明德義塾高校や優勝校・駒大苫小牧高校の不祥事の記事に触れ、さらに地元、中日新聞の発言欄に「地下鉄の中での横柄な学生の姿」の記事を見て、琵琶湖での出来事を思い出しました。

スポーツが人間教育として生かされず、一部のスポーツ指導者には勝利優先のゆがんだ商業主義が表に出ているように思えてなりません。そんな中、貴校の指導者の姿勢が一層新鮮に感じられた次第です。人の成長に役立つはずの「スポーツマンシップ」が高島高校ボート部員たちの中に生きていたことを非常に嬉しく思いました。(以下一部省略)

平成17年 8月25日

滋賀県立高島高等学校  
学校長殿

## 作るものが徐々に小さくなって・・・

水谷 晃 (18期)

家だ、ヨットだ、ソーラーボートだと、大物に挑戦していましたが、坐骨神経痛を友とし、根気が続かなくなったので、一昨年、口先で勝負できると信じてDIYアドバイザーの資格をとりました。学科試験のあと、実技試験対策として大阪での直前講習会にも参加して力をいれたので、本番で1問失敗したものの、合格できました。ところがこの資格、本業ではまったく必要のないもので、未だに一度も活かされてはいません。で、相変わらず木工と家のメンテナンス実務をしています。

最近の作品は、パソコン机とテレビ台。テレビ台は、これまで常用していたウレタンニスを使い切ったので、白木で完成としました。(ニスは取り次ぎの塗料店が廃業したのでカーマに取り寄せ依頼をするつもりが失念し越年しましたが、ここで思い出しました)

昨年末、心機一転して形の残らないもの作りをしようと、かねて心に温めていた燻製の第一歩を始めました。きっかけは、朝日新聞土曜版の記事です。関東で10年来燻製作りを楽しんでいるグループの紹介で、ホームページアドレスも載っていたのでさっそくアクセスしました。必要な道具の筆頭に、会員の考案した燻製箱があり、ベニヤ板一枚で自作可能なので、設計図が入用の方はこちらのメールアドレスにコンタクトをとれと。連絡をとったところ、2000円を会に寄付してくれたら図面を送ると返信がありました。妻に顛末を話したところ、即座に却下。燻製箱の図面を取り寄せる前に食材の購入、調理道具の整備とか、もっと他にすることがあるだろうと。どうやら私が図面を取り寄せて、燻製箱を作った段階で満足し、幻の燻製に終わると読まれたようです。

本件はこのまま凍結して、今年1月3日の漕友会総会後の我が家での二次会。19期の田淵、桑山、渡辺氏がそろい、今年はミディのパソコンカラオケも早々に切り上げ、各種の話題噴出。で、今年6月に穂高の田淵家別荘で、田淵氏が覚えた肉料理の新レパートリーを披露することになりました。彼は男料理の達人で、別荘での料理意外、我々には具たくさんオムレツを、息子さんにはキムチうどんを食べさせ、医師にならなければ料理人になったと、よっぱらいながら話していました。

ここで、くだんの燻製箱の一件が解凍しました。

まず簡単な燻製を、中華なべにアルミホイルをかけて作り、家族にふるまって胃袋から賛同を得たのち、燻製箱の図面発注をしようと。2006年の課題です。

それではみなさん、本年もよろしくおつきあいのほどおねがいします。

# オアーズマンのロマン！

## イギリス ヘンレー（ボート競技発祥の地）で漕ごう！

伊藤 壽洪 （12期）

我々、老境に入ったオアーズマンにとってロマンらしきものは色々ある。琵琶湖周航もその一つであろう。これは旭丘高校ボート部100周年事業の一環として既に行った。これは記憶に新しく、覚えてみえる方も多いと思う。

今度のロマンはボート競技発祥の地イギリス ヘンレーでエイトを漕ごうという計画である。

これは諏訪清陵高校ボート部出身者が平成16年にヘンレーで漕いだという話を12期の深山靖君が聞いてきて、我々もどうだという話しになったことが発端である。その時の経験者である、諏訪温泉ホテル浜の湯の社長さんに幹事長の丹羽さんと深山君が出向き、詳細を聞いてきた。それによると一人当たり60万円～80万円のデラックス版であり、豪華観光もあったという。

我々、旭漕会が行く場合は、安上がりに、一人当たり35万円位、現役の勤め人も多いことから旅行期間は8日間、時期は気候がよくて、飛行機代も安い9月下旬と決め、役割分担は次のように決めた。

総指揮 丹羽幹事長 総務 谷村龍児（12期）海外渉外 千田勝二（12期）  
宿手配 深山靖（12期） 現地手配 加藤澄一（12期） 会計 友松靖夫（12期）  
エイト練習計画 伊神基博（12期） スケジュール 伊藤壽洪（12期）

海外渉外の千田博士には英文の手紙を出して貰い、出来たら地元での交流を図りたい。ホテルマリオットの社長の深山靖君にはロンドン近郊の宿を安く確保して貰うため、ロンドン在住のご子息の力を借りることをお願いしている。

蛇の目ミシン工業の社長の加藤澄一君にはロンドン支店を通じて、ヘンレーにおける借艇エイトの手配をお願いしている。

シェル艇コーチ伊神基博君には、エイト練習を月1回の合宿を岐阜県川辺漕艇場で行う計画を立ててもらおう。我々の年代は高校時代F i x艇（固定席艇）であり、その後ナックル艇に拠る練習、レース参加であった。2年前よりシェル艇に切り替えて練習は行っており、シェル艇は漕げると思うがエイトは初めてであり、合宿練習が必要と判断したことに拠る。

問題は参加者である。漕手8人、舵手1人、予備1人 最低計10名は必要である。  
ここで参加者を募集したい。カミサン同伴歓迎。

旅行スケジュール 往復3日、ヘンレー1日半 ウィンザー半日  
ロンドン観光2日 カンタベリー1日

津高校 清水大輔 君 “平成17年国民体育大会 少年男子シングルスカル 優勝祝賀会”のお招きを受けて

尾関繁俊(10期)

(日時) 17年11月12日(土) 午後4時~6時

(会場) 津市プラザ洞津(ドウシン)

上記の祝賀会に津校艇友会から出席のお招きを頂きました。

長谷川誠会長が所要のため代理として尾関・田淵 副会長の2名が出席しました。

中原克己 津校艇友会会長から、津校の前身津中の昭和12年以来の全国制覇を称え後輩の活躍に対して艇友会として喜びの気持ちを表され、2年生である清水選手の来シーズンの一段の活躍と日本ボート界を背負うような選手になるよう期待しますと挨拶されました。遠方からの旭丘漕友会の出席にも謝辞をいただきました。

三重県体育協会会長、三重県ボート協会会長の祝辞の後、旭丘漕友会にご指名があり副会長の尾関が祝辞を述べました。お招きを頂いたお礼に加え、68年ぶりの全国制覇を称え、昭和57年以来の両校の交流にふれ、旭丘も平成11年に国体そして昨年はインターハイの優勝で伝統校の面目を保つ活躍をしており、素晴らしい素質の清水選手の今後のご活躍を期待しますと共に、来年は両校とも頑張り、双方が良い成績をあげられますよう祈念してお祝いの言葉にさせていただきました。

## “18年度漕友会行事参加者募集”

今年度の漕友会事業計画は19ページに記載の通りです。

つきましては、これらのレースの参加者を募集します。出漕料は漕友会が負担します。手ぶらで結構です。是非来て、漕いでください。5月の信毎諏訪湖レガッタは一泊で温泉に入り、リラックスした後のお楽しみレースです。又、琵琶湖周航も一泊の行事です。応援や宿泊時の宴会への参加だけでも結構です。気軽に参加して下さい。さらに9月に計画していますイギリス・ヘンレーへの遠征ツアーにはご家族連れでの参加を募集しています。是非ご参加下さい。

申し込み等連絡先(レース担当幹事)

伊藤壽洪(12期) 電話 090-9928-3153 E-mail hisahiro@gakusen.ac.jp

佐分敦郎(23期) 電話 052-877-2452 E-mail saburi@mbm.ocn.ne.jp

河村 剛(35期) E-mail gok@lilac.plala.or.jp

## 平成17年度 漕友会戦績

2005/03/27

■第32回中川運河ロングレース (愛知・中川運河 6000M)

MKF

レーン	クルー名	タイム	着順
	二俣島ボートクラブA	28'59"	1
	トータスおじさん	29'43"	2
	CA商友クラブ	31'58"	3
	旭丘漕友会社年組	33'40"	4
	二俣島ボートクラブB	35'38"	5

W1 x

クルー名	タイム	着順
旭丘高(山口)	26'09"	1
旭丘高(戸根)	26'47"	2
旭丘漕友会(青山)	27'04"	3
旭丘高(上田)	27'41"	4
旭丘漕友会(篠田)	28'08"	5
旭丘高(森)	29'23"	6
旭丘高(久保)	31'26"	7
旭丘高(石坂)	31'43"	8

M1 x

中部電力(長谷)	21'54"	招待
旭丘高(鈴木大)	23'02"	1
旭丘高(山田)	23'52"	2
旭丘高(藤田)	24'05"	3
旭丘高(神谷)	24'35"	4
名古屋大(高瀬)	24'38"	5
旭丘高(峰)	24'50"	6
旭丘高(竹内)	25'12"	7
津高(清水)	25'15"	8
旭丘高(上原)	25'38"	9
旭丘漕友会(佐分)	30'41"	10

■第16回マスターズレガッタ 第6回スプリント選手権 (愛知・愛知池)

MKF(65歳〜) (距離)300M

予選C

2005/04/24

レーン	クルー名	県名	タイム	着順
3	諏訪中漕友会A	長野	1'33'83"	3
4	洲本R・C B	兵庫	1'27'06"	1
5	旭丘漕友会熟年組	愛知	1'27'39"	2

順位決定D

2	諏訪中漕友会B	長野	1'39'60"	5
3	稲門艇友会 超七	東京	1'34'96"	2
4	洲本R・C A	兵庫	1'34'09"	1
5	旭丘漕友会熟年組	愛知	1'37'07"	3
6	諏訪中漕友会A	長野	1'38'49"	4

MKF(55〜64歳) (距離)500M

予選B

2	旭丘漕友会社年組	愛知	2'29'07"	3
3	飛騨ROWING	岐阜	2'30'81"	4
4	名古屋大学艇友会関西	大阪	2'13'50"	2
5	41年会	滋賀	2'10'49"	1

MKF(45〜54歳) (距離)500M

決勝A

2	旭丘漕友会青年組	愛知	2'14"07"	2
3	津高艇友会A	三重	2'09"17"	1
4	パルテ	神奈川	2'27"70"	3
5	洲本R・C	兵庫	2'30"65"	4
6	津高艇友会B	三重		

M1 x (45〜54歳) (距離)500M

決勝A

2	パルテB(能村)	埼玉	2'07"57"	1
3	旭丘漕友会(佐分)	愛知	2'22"43"	4
4	パルテA(谷口)	埼玉	2'12"71"	2
5	パルテC(熊倉)	埼玉	2'19"28"	3

W1 x (スプリント) (距離)500M

決勝A

3	飛騨ROWING(山口)	岐阜	2'12"79"	2
4	旭丘漕友会(篠田)	愛知	2'15"24"	3
5	小松RC(中村)	石川	2'08"49"	1

決勝B

3	旭丘漕友会(篠田)	愛知	2'21"09"	2
4	飛騨ROWING(山口)	岐阜	2'27"36"	3
5	小松RC(中村)	石川	2'15"69"	1

■第28回信毎諏訪湖レガッタ 第6回全国ナックルフルア大会 (長野・下諏訪漕艇場)

MKF・B(漕手合計年齢200歳以上) (距離)500M

2005/05/14-15

予選A

レーン	クルー名	タイム	着順
2	旭丘漕友会	2'34"08"	1
3	諏訪マスターズ	2'21"21"	4
4	漕友会63	2'25"73"	5
5	トータスおじさん	2'52"22"	3

決勝A

1	諏訪マスターズ	2'15"66"	2
2	酔漕楽団花組	2'13"42"	1
3	漕友会62	2'18"50"	4
4	旭丘漕友会	2'29"22"	6
5	漕友会63	2'22"03"	5
6	トータスおじさん	2'17"28"	3

W2 x (距離)1000M

決勝A

2	※とらじRC	4'48"44"	オープン参加
3	旭丘漕友会	4'17"91"	2位
4	富山国際大	3'52"79"	優勝
5	山梨大医学部	4'42"76"	3位

W1 x (距離)1000M

決勝A

1	恵那RC(アンリ)	4'45"94"	4
2	立命館大学(照井)	4'26"57"	2
3	旭丘漕友会A(篠田)	4'43"29"	3位
4	富山国際大学(次世)		棄権
5	旭丘漕友会B(青山)	4'21"80"	1

■第47回(名古屋)市民スポーツ祭 (愛知・中川運河 1000M)

2005/08/07

M1 x

予選D			
2	中川運河RC(行田)	4'19"95	1
3	旭丘高(鵜部)	4'53"99	2
4	旭丘漕友会(佐分)	4'57"33	3

敗復F

2	大同工業大(水谷)	4'35"94	2
3	大同工業大(菅沢)	4'13"08	1
4	旭丘漕友会(佐分)		棄権

W1 x

決勝A			
1	名古屋大(伊藤)	4'56"41	3
2	旭丘高(久保)	4'49"95	1
3	旭丘漕友会(篠田)	4'53"32	2
4	名古屋大(清水)	5'36"28	4

決勝B

1	旭丘漕友会(篠田)	5'06"55	3
2	名古屋大(清水)	6'08"02	4
3	名古屋大(伊藤)	5'02"88	1
4	旭丘高(久保)	5'03"43	2

■第23回名古屋レガッタ (愛知・中川運河)

2005/09/18

MKF(ロービッチ・漕手年齢合計24.1歳以上)(距離)500M

決勝A

レーン	クルー名	タイム	着順
1	旭丘漕友会社年組A	2'27"55	1
2	旭丘漕友会社年組B	2'28"73	2

決勝B

1	旭丘漕友会社年組B	2'37"47	2
2	旭丘漕友会社年組A	2'35"00	1

MKF(ミドルビッチ・漕手年齢合計20.1歳以上)(距離)500M

決勝A

1	緑悠会「ゆきぐに」	2'27"94	4
2	旭丘漕友会青年組	2'39"94	5
3	海洋寿	2'27"07	3
4	緑悠会「しなの」	2'18"41	1
5	名古屋大学艇友会D	2'23"10	2

決勝B

1	海洋寿	2'24"86	1
2	名古屋大学艇友会D	2'26"45	2
3	緑悠会「しなの」	2'31"63	3
4	緑悠会「ゆきぐに」	2'41"38	5
5	旭丘漕友会青年組	2'32"36	4

M1 x

予選C			
1	大同工業大(菅沢)	3'51"68	1
2	旭丘漕友会(佐分)	4'43"03	4
3	南山大(立森)	4'13"12	2
4	旭丘高(鵜部)	4'26"76	3

敗復I

1	旭丘漕友会(佐分)	4'48"59	3
2	南山大(岩橋)	4'06"51	1
3	南山大(後藤)	4'10"65	2

■第6回グリーンチャンピオンシップスレガッタ (愛知・愛知池)

2005/10/23

M1 x (45~54歳)(距離)500M

決勝

レーン	クルー名	県名	タイム	着順
2	旭丘漕友会(佐分)	愛知	2'10"85	2
3	愛知池RC(石川)	愛知	2'26"77	3
4	ホンダ(福井)	三重	2'09"61	1

平成17年度 現役戦績

■第16回全国高校選抜大会 (静岡・天竜川 2000M)

2005/03/19-20

M1 x

予選4組

レーン	クルー名	県名	タイム	着順
1	津久井高(寺島)	神奈川	7'37"44	1
2	清風高(竹内)	大阪	7'58"18	5
3	旭丘高(鈴木)	愛知	7'51"15	3
4	山口水産高(木村)	山口	7'57"11	4
5	西和賀高(米澤)	岩手	7'48"24	2
6	函館水産高(吉田)	北海道	8'53"33	6

準決勝2組

2	新居高(菅沼)	静岡	7'47"60	2
3	東筑高(富岡)	福岡	7'56"41	4
4	関西高(千原)	岡山	7'40"64	1
5	旭丘高(鈴木)	愛知	7'49"67	3

■第32回中川運河ロングレース (愛知・中川運河 6000M)

2005/03/27

W1 x

クルー名	タイム	着順
旭丘高(山口)	26'09"	1
旭丘高(戸根)	26'47"	2
※旭丘漕友会(青山)	27'04"	3
旭丘高(上田)	27'41"	4
※旭丘漕友会(篠田)	28'08"	5
旭丘高(森)	29'23"	6
旭丘高(久保)	31'26"	7
旭丘高(石坂)	31'43"	8

M1 x

中郵電力(長谷)	21'54"	招待
旭丘高(鈴木大)	23'02"	1
旭丘高(山田)	23'52"	2
旭丘高(篠田)	24'05"	3

旭丘高(神谷)	24'35"	4
名古屋大(高瀬)	24'38"	5
旭丘高(峰)	24'50"	6
旭丘高(竹内)	25'12"	7
津高(清水)	25'15"	8
旭丘高(上原)	25'38"	9
※旭丘漕友会(佐分)	30'41"	10

2005/04/15-17

■第50回日本レガッタ (愛知・愛知池)

少年M2 x

予選A

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	着順
1	若狭高	福井	3'57"68	3	→敗復
2	浜北高	静岡	4'18"64	6	
3	大村高	長崎		除外	
4	諏訪清陵高A	長野	3'51"88	1	→準決勝
5	旭丘高D	愛知	4'10"82	5	
6	大津高B	滋賀	3'52"47	2	→準決勝
7	富士河口湖高C	山梨	4'05"94	4	

予選B

1	旭丘高A	愛知	3'55"39	2	→準決勝
2	桜宮高	大阪	3'53"88	1	→準決勝
3	猿投農林高C	愛知	4'15"34	7	
4	大津高A	滋賀	4'05"16	5	
5	京都高校選抜B	京都	3'55"84	3	
6	岡谷東高	長野	4'02"19	4	
7	富士河口湖高B	山梨	4'15"10	6	

予選C

1	瀬田工業高	滋賀	4'08"06	2	→準決勝
2	東濃実業高B	岐阜	4'24"26	5	
3	旭丘高E	愛知	4'14"99	4	
4	敦賀工業高A	福井	4'04"74	1	→準決勝
5	猿投農林高B	愛知	4'42"11	7	
6	浜松湖南高B	静岡	4'26"79	6	
7	富士河口湖高D	山梨	4'14"36	3	

予選D

1	八尾高	富山		棄権	
2	浜松湖南高A	静岡	4'13"23	5	
3	東郷高B	愛知	4'13"47	6	
4	大沢野工業高A	富山	4'06"27	3	
5	美方高A	福井	3'53"50	1	→準決勝
6	旭丘高C	愛知	4'01"97	2	→準決勝
7	八百津高	岐阜	4'10"88	4	

予選E

1	東郷高A	愛知	4'01"94	4	
2	美方高B	福井	3'50"57	3	
3	東濃実業高A	岐阜	3'47"79	2	→準決勝
4	旭丘高B	愛知	4'07"35	5	
5	諏訪清陵高B	長野	4'18"67	6	
6	小浜水産高B	福井	3'46"59	1	→準決勝

敗復A

1	大村高	長崎	4'13"33	3	
2	富士河口湖高D	山梨	4'22"17	5	
3	大津高A	滋賀	4'20"79	4	
4	美方高B	福井	4'07"74	1	→準決勝

5	富士河口湖高C	山梨	4'34"81	7	
6	旭丘高E	愛知	4'24"10	6	
7	大沢野工業高B	富山	4'12"03	2	

敗復D

1	浜北高	静岡	4'35"29	5	
2	旭丘高B	愛知	4'22"39	4	
3	徳津シエ7RC	佐賀	4'15"34	2	
4	岡谷東高	長野	4'11"13	1	→準決勝
5	宮川高	三重	4'39"04	6	
6	東濃実業高B	岐阜	4'18"96	3	

敗復E

1	諏訪清陵高B	長野	4'38"11	6	
2	旭丘高D	愛知	4'34"44	5	
3	若狭高	福井	4'05"69	1	→準決勝
4	東郷高A	愛知	4'05"95	2	→準決勝
5	八百津高	岐阜	4'27"46	4	
6	諏訪清陵高C	長野	4'18"55	3	

準決勝M

1	岡谷東高	長野	3'51"10	4	
2	旭丘高C	愛知	3'51"30	5	
3	諏訪清陵高A	長野	3'48"48	3	
4	日田三限高	大分	3'41"13	1	→決勝
5	大津高B	滋賀	3'53"32	7	
6	敦賀工業高A	福井	3'46"75	2	→決勝
7	大沢野工業高B	富山	3'51"63	6	

準決勝O

1	東郷高A	愛知	3'51"10	4	
2	旭丘高A	愛知	3'51"30	5	
3	小浜水産高A	福井	3'48"48	3	
4	東濃実業高A	岐阜	3'41"13	1	→決勝
5	桜宮高	大阪	3'53"32	7	
6	若狭高	福井	3'46"75	2	→決勝
7	京都高校選抜B	京都	3'51"63	6	

少年M1 x

予選A

1	美方高D(武田)	福井	4'22"39	2	→準決勝
2	大沢野工業高G(杉本)	富山	4'29"64	5	
3	旭丘高A(山本)	愛知	4'23"87	3	
4	岡谷南高(東城)	長野	4'10"39	1	→準決勝
5	湖南高D(猪越)	福島	4'25"58	4	
6	八尾高B(水口)	富山		棄権	
7	猿投農林高C(加納)	愛知	4'49"24	6	

予選G

1	東濃実業高B(吉松)	岐阜	4'35"11	4	
2	旭丘高B(前田)	愛知		棄権	
3	湖南高B(半沢)	福島	4'10"51	2	→準決勝
4	大沢野工業高D(笹生)	富山	4'12"99	3	
5	宮川高(北山)	三重	5'07"45	6	
6	美方高A(畑中)	福井	4'08"00	1	→準決勝
7	八尾高A(山崎)	富山	4'47"17	5	

敗復E

1	浜北高B(竹平)	静岡	4'46"46	4	
2	旭丘高A(山本)	愛知	4'46"86	5	
3	津高(清水)	三重	4'23"99	1	→準決勝
4	若狭高(須田)	福井	4'34"39	2	
5	東濃実業高B(吉松)	岐阜	4'37"37	3	
6	宮川高(北山)	三重	5'39"10	6	

少年W4×+

予選B	2	旭丘高	愛知	4'20"85	5	
	3	浜松湖南高	静岡	4'10"09	4	
	4	滋賀選抜A	滋賀	3'57"61	1	→準決勝
	5	京都高校選抜	京都	3'59"42	2	→準決勝
	6	猿投農林高B	愛知	4'05"52	3	

敗復B	2	旭丘高	愛知	4'38"52	4	
	3	浜松湖南高	静岡	4'31"50	3	
	4	猿投農林高A	愛知	4'15"95	1	→準決勝
	5	日田三隈高	大分	4'29"19	2	→準決勝
	6	猿投農林高C	愛知	4'38"97	5	

少年W1×

予選A	1	唐津ジュニアRC(駿川)	佐賀	5'00"24	4	
	2	旭丘高B(久保)	愛知	5'45"32	6	
	3	若狭高A(塚本)	福井	5'08"10	5	
	4	八尾高B(巻田)	富山	4'45"17	1	→準決勝
	5	本荘高(生田)	秋田	4'58"38	2	→準決勝
	6	岡谷南高(北原)	長野	5'59"29	7	
	7	恵那高(中神)	岐阜	4'59"29	3	

予選C	1	日田三隈高(松本)	大分			棄権
	2	浜松北高(丸谷)	静岡	4'45"27	1	→準決勝
	3	大村高A(園分)	長崎	4'46"83	2	→準決勝
	4	美方高B(大塚)	福井	4'51"68	3	
	5	旭丘高A(森)	愛知	5'30"66	4	
	6	八尾高E(有須)	富山			棄権

敗復B	1	八尾高F(若林)	富山	5'58"47	5	
	2	八尾高C(福岡)	富山	5'35"74	3	
	3	栲野高(中川)	大阪	5'25"29	1	→準決勝
	4	恵那高(中神)	岐阜	5'34"64	2	
	5	若狭高A(塚本)	福井	5'50"15	4	
	6	旭丘高B(久保)	愛知	6'27"80	6	

敗復C	1	大村高(小谷)	長崎	5'53"53	4	
	2	若狭高B(窪)	福井	5'46"47	3	
	3	小浜水産高B(松井)	福井	5'24"06	1	→準決勝
	4	美方高B(大塚)	福井	5'32"21	2	
	5	西谷津高(薄)	福島	5'54"52	5	
	6	旭丘高A(森)	愛知	6'23"19	6	

■第28回信海諏訪湖レガッタ (長野・下諏訪清艇場)

少年M4×+

予選C	レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
	1	恵那高	岐阜	3'26"41	2	→準決勝
	2	大沢野工業高A	富山	3'24"59	1	→準決勝
	3	旭丘高	愛知	3'52"49	5	
	4	浜松北高	静岡	3'43"26	4	
	5	八百津高	岐阜	3'27"78	3	

敗復A	2	旭丘高	愛知	3'47"79	4	
	3	加茂高	岐阜	3'26"44	2	→決勝
	4	八百津高	岐阜	3'23"67	1	→決勝
	5	小見川高	千葉	3'38"96	3	→決勝

少年M2×

予選A	1	旭丘高B	愛知	3'56"85	5	
	2	銚子商業高	千葉	3'46"89	3	
	3	諏訪清陵高A	長野	3'41"96	1	→準決勝
	4	富士河口湖高A	山梨	3'47"12	4	
	5	八尾高	富山	3'44"80	2	→準決勝
	6	館林高	群馬	4'06"79	6	

予選B	1	小見川高	千葉	3'46"55	2	→決勝
	2	富士河口湖高B	山梨	3'50"58	3	
	3	旭丘高A	愛知	3'43"16	1	→決勝
	4	諏訪清陵高B	長野	3'59"43	5	
	5	八百津高	岐阜			棄権
	6	東濃実業高B	岐阜	3'57"56	4	

敗復B	1	諏訪清陵高B	長野	3'57"63	5	
	2	旭丘高B	愛知	3'49"76	3	
	3	加茂高	岐阜	3'48"12	2	
	4	銚子商業高	千葉	3'42"75	1	→準決勝
	5	吉田高	山梨	3'54"01	4	

準決勝B	1	東濃実業高B	岐阜	3'43"93	5	
	2	小見川高	千葉	3'48"88	6	
	3	岡名東高	長野	3'34"58	1	→準決勝
	4	東濃実業高A	岐阜	3'37"81	2	→準決勝
	5	旭丘高A	愛知	3'40"70	4	
	6	津久井高	神奈川	3'40"33	3	→準決勝

少年M1×

予選B	1	大沢野工業高D(山本)	富山	3'47"51	1	→準決勝
	2	諏訪清陵高B(小林)	長野	4'10"80	6	
	3	旭丘高A(鈴木)	愛知	3'50"05	2	→準決勝
	4	津久井高C(水野)	神奈川	3'57"16	4	
	5	富士河口湖高A(在原)	山梨	3'53"41	3	
	6	館林高A(酒井)	群馬	4'00"93	5	

予選C	1	津久井高A(寺島)	神奈川	3'54"18	1	→準決勝
	2	大沢野工業高C(大森)	富山	3'59"70	2	→準決勝
	3	館林高B(武田)	群馬	4'29"31	6	
	4	旭丘高B(山本)	愛知	4'13"78	5	
	5	八尾高B(五十嵐)	富山	4'02"16	3	
	6	恵那高(大山)	岐阜	4'04"90	4	

予選D	1	銚子高(岩瀬)	千葉	3'55"26	3	
	2	旭丘高C(山田)	愛知	4'01"18	4	
	3	八尾高C(磯井)	富山	4'05"84	5	
	4	津久井高B(熊坂)	神奈川	3'54"70	1	→準決勝
	5	大沢野工業高F(石割)	富山	3'55"03	2	→準決勝

敗復D	1	吉田高A(堀池)	山梨	4'34"65	5	
	2	旭丘高B(山本)	愛知	4'30"06	4	
	3	旭丘高C(山田)	愛知	4'13"03	2	
	4	吉田高B(小沢)	山梨	4'14"58	3	
	5	大沢野工業E(山越)	富山	4'10"26	1	→準決勝

準決勝B	1	岡名東高A(伊藤)	長野	4'05"90	6	
	2	大沢野工業高C(大森)	富山	4'00"52	5	



3	岡谷南高(東城)	長野	3'47"22	1	→決勝
4	旭丘高A(鈴木)	愛知	3'52"00	3	
5	大沢野工業高F(石割)	富山	3'53"46	4	
6	津久井高C(水野)	神奈川	3'51"72	2	→決勝

少年W4 x +

予選B

1	旭丘高	愛知	4'16"22	3	
2	加茂高A	岐阜	3'55"23	1	→決勝
3	富士河口湖高	山梨	4'04"91	2	→決勝

敗復A

3	加茂高B	岐阜	3'51"27	2	→決勝
4	諏訪清陵高	長野	3'49"42	1	→決勝
5	旭丘高	愛知		棄権	

少年W1 x

予選A

1	旭丘高A(上田)	愛知		棄権	
2	諏訪清陵高(岩波)	長野	4'27"38	3	
3	小見川高B(小倉)	千葉	4'15"94	1	→準決勝
4	加茂高A(佐合)	岐阜	4'36"28	4	
5	津久井高(五十嵐)	神奈川	4'16"84	2	→準決勝

予選B

1	恵那高(中神)	岐阜	4'27"82	2	→準決勝
2	下諏訪向陽高(藤森)	長野	4'45"83	3	
3	加茂高B(土屋)	岐阜	4'25"84	1	→準決勝
4	岡谷南高(北原)	長野	5'04"06	5	
5	旭丘高B(久保)	愛知	4'55"59	4	

敗復A

2	岡谷南高(北原)	長野	5'23"66	4	
3	下諏訪向陽高(藤森)	長野	5'03"65	2	→準決勝
4	諏訪清陵高(岩波)	長野	4'44"18	1	→準決勝
5	旭丘高B(久保)	愛知	5'14"99	3	→準決勝

準決勝B

1	下諏訪向陽高(藤森)	長野	4'37"49	5	
2	加茂高A(佐合)	岐阜	4'23"66	4	
3	恵那高(中神)	岐阜	4'17"37	2	→決勝
4	津久井高(五十嵐)	神奈川	4'12"32	1	→決勝
5	富士河口湖高(佐藤)	山梨	4'22"81	3	→決勝
6	旭丘高B(久保)	愛知	4'52"52	6	

■2005 愛知県高校総体 (愛知・愛知池 1000M)

M4 x +

2005/05/21-22

予選B

レーン	クルー名	タイム	着順
4	旭丘高	3'34"98	2
5	猿投農林高A	3'18"63	1

敗復C

3	豊田北高	3'37"94	2	→決勝
4	猿投農林高B	3'33"91	1	→決勝
5	旭丘高	3'39"68	3	

M2 x

予選A

3	猿投農林高C	3'46"51	3	
4	旭丘高A	3'31"98	1	→決勝
5	猿投農林高B	3'42"72	2	

予選B

4	猿投農林高A	3'25"86	1	→決勝
5	旭丘高B	3'45"47	2	

敗復C

3	旭丘高B	3'44"63	1	→決勝
4	猿投農林高B	3'47"80	2	→決勝
5	猿投農林高C	3'56"65	3	

決勝C

2	猿投農林高B	3'39"91	4	
3	旭丘高A	3'30"66	2	→東海大会
4	猿投農林高A	3'18"59	1	→全国大会
5	旭丘高B	3'35"52	3	→東海大会

予選A

2	東郷高E(松浦)	4'12"01	3	
3	東郷高A(鬼頭)	3'51"89	2	→準決勝
4	旭丘高B(山本)	3'50"76	1	→準決勝
5	猿投農林高B(稻本)		棄権	

予選B

2	旭丘高C(山田)	3'37"60	1	→準決勝
3	豊田北高(小野)	3'41"96	2	→準決勝
4	東郷高B(加藤)	4'01"52	4	
5	猿投農林高C(山田)	3'46"86	3	

予選C

2	東郷高D(松下)	4'10"16	3	
3	猿投農林高A(今井)	4'03"39	2	→準決勝
4	旭丘高A(鈴木)	3'40"21	1	→準決勝
5	東郷高C(野瀬)	4'13"68	4	

準決勝F

2	東郷高B(加藤)	4'07"51	4	
3	旭丘高B(山本)	3'51"73	2	→決勝
4	旭丘高C(山田)	3'49"85	1	→決勝
5	東郷高A(鬼頭)	3'52"82	3	

準決G

2	猿投農林高C(山田)	3'52"22	3	
3	豊田北高(小野)	3'48"09	2	→決勝
4	旭丘高A(鈴木)	3'46"68	1	→決勝
5	猿投農林高A(今井)	4'08"11	4	

決勝H

2	旭丘高B(山本)	4'01"77	4	
3	豊田北高(小野)	3'45"07	2	→東海大会
4	旭丘高A(鈴木)	3'41"06	1	→全国大会
5	旭丘高C(山田)	3'53"28	3	→東海大会

予選B

2	猿投農林高B	4'06"23	3	
3	旭丘高	4'04"28	2	→準決勝
4	豊田北高	3'58"53	1	→準決勝
5	東郷高B	4'12"11	4	

準決勝D

3	旭丘高	3'56"77	2	→決勝
4	猿投農林高A	3'47"11	1	→決勝
5	東郷高B	4'02"46	3	

決勝F

2	旭丘高	4'01"50	3	→東海大会
3	豊田北高	3'59"36	2	→東海大会
4	猿投農林高A	3'49"07	1	→全国大会
5	東郷高A	4'05"97	4	

予選A

2	猿投農林高B(牧瀬)	4'14"82	2	→準決勝
3	東郷高(大岩)	4'08"95	1	→準決勝
4	旭丘高A(上田)	4'23"12	3	
5	旭丘高C(石坂)	4'41"59	4	

予選B

2	旭丘高B(森)	4'41"26	4	
3	猿投農林高A(福島)	4'06"04	1	→準決勝
4	豊田北高(戸田)	4'28"96	2	→準決勝
5	旭丘高D(久保)	4'37"97	3	

敗復C

2	旭丘高C(石坂)	4'57"10	4	
3	旭丘高D(久保)	4'46"97	2	→準決勝
4	旭丘高A(上田)	4'35"11	1	→準決勝
5	旭丘高B(森)	4'54"07	3	

準決勝D

3	豊田北高(戸田)	4'27"37	3	
4	猿投農林高A(福島)	4'07"67	1	→決勝
5	旭丘高A(上田)	4'20"41	2	→決勝

準決勝E

3	猿投農林高B(牧瀬)	4'16"77	2	→決勝
4	東郷高(大岩)	4'12"25	1	→決勝
5	旭丘高D(久保)	4'36"68	3	

決勝D

2	旭丘高A(上田)	4'28"77	4	
3	東郷高(大岩)	4'15"41	2	→東海大会
4	猿投農林高A(福島)	4'08"73	1	→全国大会
5	猿投農林高B(牧瀬)	4'21"71	3	→東海大会

■2005 国体愛知県予選 (愛知・愛知池 950M)

少年M4 X 十

2005/05/28-29

1回戦

レーン	クルー名	タイム	着順
2	豊田北高	3'29"69	3
3	猿投農林高	3'13"28	1
4	旭丘高	3'31"29	4
5	東郷高	3'20"47	2

2回戦

2	旭丘高	3'36"16	3	3位
3	東郷高	3'22"62	2	2位
4	猿投農林高	3'20"33	1	1位
5	豊田北高	3'39"65	4	

少年M1 X

1回戦A

2	旭丘高(山田)	3'36"97	3	
3	東郷高(鬼頭)	3'47"84	4	
4	猿投農林高(岩月)	3'27"96	2	
5	猿投農林高(粕谷)	3'23"25	1	

1回戦B

2	東郷高(溝田)	3'40"46	4	
3	旭丘高(鈴木)	3'31"32	1	
4	豊田北高(小野)	3'35"08	2	
5	旭丘高(峰)	3'37"26	3	

2回戦C

2	東郷高(鬼頭)	3'54"55	4	
3	旭丘高(峰)	3'41"06	1	
4	旭丘高(山田)	3'44"30	2	
5	東郷高(溝田)	3'46"84	3	

2回戦D

2	豊田北高(小野)	3'43"86	4	
3	猿投農林高(岩月)	3'34"52	3	2位
4	猿投農林高(粕谷)	3'30"50	1	1位
5	旭丘高(鈴木)	3'32"63	2	3位

少年W1 X

1回戦A

2	猿投農林高(福島)	3'54"75	1	
3	東郷高(大岩)	3'58"55	2	
4	豊田北高(戸田)	4'21"03	4	
5	旭丘高(山口)	4'02"82	3	

2回戦B

2	豊田北高(戸田)	4'26"05	4	
3	東郷高(大岩)	4'05"10	2	2位
4	猿投農林高(福島)	4'01"20	1	1位
5	旭丘高(山口)	4'07"82	3	3位

トライアトル少年M1 X

1回戦A

2	東郷高(松下)	4'05"57	4	
3	旭丘高(鈴木龍)	3'50"65	1	
4	旭丘高(野呂)	4'00"92	3	
5	旭丘高(神谷)	3'51"18	2	

1回戦B

3	東郷高(野瀬)	4'03"70	2	
4	東郷高(松浦)	4'20"02	3	
5	旭丘高(竹内)	3'53"96	1	

1回戦C

3	旭丘高(近藤)	3'43"46	1	
4	旭丘高(藤田)	3'51"25	2	
5	東郷高(加藤)	3'57"94	3	

2回戦D

3	東郷高(松下)	4'16"46	1	
4	東郷高(野瀬)	4'16"81	2	
5	東郷高(松浦)	4'33"84	3	

2回戦E

3	真郷高(加藤)	4'06"02	2	
4	旭丘高(竹内)	4'05"19	1	4位
5	旭丘高(野呂)	4'22"45	3	

2回戦F

2	旭丘高(藤田)	3'56"98	2	2位
3	旭丘高(鈴木龍)	4'09"16	4	5位
4	旭丘高(近藤)	3'54"12	1	1位
5	旭丘高(神谷)	4'01"67	3	3位

トライアル少年W1 x

1回戦A

2	旭丘高(戸根)	4'06"80	2	
3	旭丘高(久保)	4'27"36	4	
4	東郷高(松岡)	4'13"67	3	
5	猿投農林高(木全)	4'04"14	1	

2回戦B

2	旭丘高(久保)	4'54"88	4	4位
3	旭丘高(戸根)	4'31"20	2	2位
4	猿投農林高(木全)	4'27"07	1	1位
5	東郷高(松岡)	4'34"51	3	3位

■2005 東海高校総体 (愛知・中川運河 1000M)

2005/06/18-19

M2 x

予選A

レーン	クルー名	県名	タイム	着順
2	沼津工業高	静岡3	3'46"50	2
3	宮川高	三重1	4'11"89	4
4	真濃実業高	岐阜1	3'41"48	1
5	旭丘高B	愛知3	3'57"86	3

予選B

2	加茂高	岐阜3	3'59"50	3
3	津高A	三重2	5'02"04	4
4	浜松湖南高	静岡1	3'39"24	1
5	旭丘高A	愛知2	3'49"27	2

決勝B

2	旭丘高B	愛知3	4'03"06	4
3	旭丘高A	愛知2	3'57"25	3
4	沼津工業高	静岡3	3'49"16	1
5	美濃加茂高	岐阜2	3'49"38	2

M1 x

予選A

2	美濃加茂高B(佐伯)	岐阜3	4'32"31	4
3	旭丘高A(鈴木)	愛知1	4'14"40	2
4	津高(清水)	三重1	4'01"86	1
5	二俣高(市川)	静岡3	4'21"86	3

予選B

2	旭丘高B(山田)	愛知3		棄権
3	新居高(菅沼)	静岡2	4'13"84	1
4	真濃実業高(日比野)	岐阜1	4'15"21	2
5	昴学園高(福井)	三重2	4'28"05	3

決勝A

2	豊田北高(小野)	愛知2	4'15"30	3	3位
3	津高(清水)	三重1	4'04"94	1	優勝
4	旭丘高A(鈴木)	愛知1	4'12"00	2	2位
5	新居高(菅沼)	静岡2	4'16"22	4	

W2 x

予選B

2	旭丘高	愛知3	4'37"25	3	
3	宮川高	三重2	5'24"44	4	
4	浜松湖南高	静岡1	4'10"40	1	→決勝A
5	八百津高B	岐阜2	4'25"83	2	

決勝C

2	津商業高B	三重3	5'24"90	4	
3	津商業高A	三重1	4'33"34	2	
4	旭丘高	愛知3	4'16"05	1	
5	宮川高	三重2	5'04"49	3	

■2005 国体東海ブロック大会 (静岡・佐鳴湖 1000M)

M1 x

2005/7/17

予選1

1	静岡県選抜(孫六)	静岡	4'20"36	3	→決勝
2	恵那高(伊藤)	岐阜	4'01"08	1	→決勝
3	三重選抜(清水)	三重	4'01"80	2	→決勝
4	旭丘高(鈴木)	愛知	4'26"58	4	→決勝

決勝1

1	旭丘高(鈴木)	愛知	4'16"94	3	
2	三重選抜(清水)	三重	3'56"32	1	
3	恵那高(伊藤)	岐阜	3'57"52	2	
4	静岡県選抜(孫六)	静岡	4'19"30	4	

■第47回(名古屋)市民スポーツ祭 (愛知・中川運河 1000M)

M4 x 十

2005/08/07

決勝A

レーン	クルー名	タイム	着順
2	旭丘高(M4 x 十)	4'09"21	1
3	南山大(M4+)		除外
4	名古屋大(M4+)	4'01"78	1

決勝B

2	名古屋大(M4+)	4'18"98	1	優勝
3	南山大(M4+)	4'50"00	2	2位
4	旭丘高(M4 x 十)	4'15"85	1	優勝

M2 x

決勝A

1	東海RC	4'15"29	3	
2	大同工業大	3'40"79	1	
3	旭丘高	3'54"84	2	
4	CA商友クラブ	5'14"25	4	

決勝B

1	旭丘高	4'03"05	2	2位
2	CA商友クラブ	5'13"26	4	
3	東海RC	4'15"38	3	3位
4	大同工業大	3'38"85	1	優勝

M1 x

予選A

1	大同工業大(菅沢)	4'07"40	3	
2	旭丘高(近藤)	4'06"43	1	→準決勝
3	旭丘高(神谷)	4'07"10	2	
4	旭丘高(竹内)	4'12"04	4	

予選B

2	大同工業大(水谷)	4'38"31	2	→準決勝
3	旭丘高(小嶋)	4'27"20	1	→準決勝
4	旭丘高(加藤)	5'18"85	3	

予選C

2	旭丘高(前田)	4'19"86	1	→準決勝
3	大同工業大(頼田)	4'26"52	2	
4	旭丘高(宮本)	4'45"27	3	

予選D

2	中川運河RC(行田)	4'19"95	1	→準決勝
3	旭丘高(髙野)	4'53"99	2	
4	旭丘漕友会(佐分)	4'57"33	3	

敗復活E

2	旭丘高(宮本)	4'36"32	2	
3	旭丘高(神谷)	4'05"70	1	→準決勝
4	旭丘高(髙野)	4'49"83	3	

敗復活F

2	大同工業大(水谷)	4'35"94	2	
3	大同工業大(菅沢)	4'13"08	1	→準決勝
4	旭丘漕友会(佐分)		棄権	

敗復活G

2	大同工業大(頼田)	4'17"25	2	
3	旭丘高(竹内)	4'08"59	1	→準決勝
4	旭丘高(加藤)	5'19"31	3	

準決勝H

1	大同工業大(菅沢)	4'19"40	3	→決勝
2	旭丘高(小嶋)	4'27"90	4	
3	旭丘高(近藤)	4'16"52	1	→決勝
4	旭丘高(神谷)	4'18"92	2	→決勝

準決勝I

2	中川運河RC(行田)	4'26"19	2	
3	旭丘高(前田)	4'27"33	3	
4	旭丘高(竹内)	4'21"98	1	→決勝

決勝J

1	大同工業大(菅沢)	4'18"42	4	
2	旭丘高(神谷)	4'15"48	2	2位
3	旭丘高(近藤)	4'12"05	1	優勝
4	旭丘高(竹内)	4'18"10	3	3位

決勝A

2	南山大(W4 x +)	5'10"68	1	
3	愛知教育大(W2 x)	4'13"96	1	
4	旭丘高(W2 x)	4'38"30	2	

決勝B

2	愛知教育大(W2 x)	4'34"72	1	優勝
3	旭丘高(W2 x)	5'41"59	2	2位
4	南山大(W4 x +)	5'31"66	1	優勝

決勝A

1	名古屋大(伊藤)	4'56"41	3	
2	旭丘高(久保)	4'49"95	1	
3	旭丘漕友会(徳田)	4'53"32	2	
4	名古屋大(清水)	5'36"28	4	

決勝B

1	旭丘漕友会(徳田)	5'06"55	3	3位
2	名古屋大(清水)	6'08"02	4	
3	名古屋大(伊藤)	5'02"88	1	2位
4	旭丘高(久保)	5'03"43	2	優勝

予選E

クルー名	県名	タイム	着順	
西和實高(米沢)	岩手	3'41"69	1	→準々決勝
津久井高(寺島)	神奈川県	3'42"27	2	→準々決勝
回志社高(菅地)	京都	3'45"98	3	→準々決勝
旭丘高(鈴木)	愛知	3'49"26	4	
宮崎商業高(堀之内)	宮崎	3'51"97	5	
徳島市立高(友竹)	徳島		棄権	

敗復活C

旭丘高(鈴木)	愛知	3'43"80	1	→準々決勝
鳥取東高(小原)	鳥取	3'47"48	2	→準々決勝
和歌山北高(小川)	和歌山	3'49"14	3	→準々決勝
宮島工業高(広田)	広島	3'50"40	4	
榑多農業高(田辺)	高知	4'02"31	5	
坂出商業高(多田)	香川	4'12"76	6	

準々決勝B

小見川高(小山田)	千葉	3'42"53	1	→準決勝
愛媛大農業高(小原)	愛媛	3'46"37	2	→準決勝
八尾高(山崎)	富山	3'48"26	3	
旭丘高(鈴木)	愛知	3'48"89	4	
鹿屋工業高(藤)	鹿児島	3'54"29	5	
山口水産高(谷村)	山口	4'02"70	6	

決勝A

レーン	クルー名	タイム	着順	
2	旭丘高(M4 x +)	3'33"53	1	
3	愛知教育大(W4 x +)	4'19"17	1	棄権
4	南山大(W2 x)		棄権	

決勝B

2	愛知教育大(W4 x +)	4'20"35	1	優勝
3	南山大(W2 x)		棄権	
4	旭丘高(M4 x +)	3'36"27	1	優勝

予選B

2	愛知工業大	3'57"00	2	
3	南山大C	4'19"78	3	
4	旭丘高	3'26"80	1	→決勝

決勝F

1	名古屋大	3'56"08	5	
2	大同工業大	3'32"94	2	2位
3	名古屋工業大	3'28"36	1	優勝
4	旭丘高	3'37"38	3	3位
5	南山大B	3'47"10	4	

予選C

1	大同工業大(菅沢)	3'51"68	1	→準決勝
2	旭丘漕友会(佐分)	4'43"03	4	
3	南山大(立巻)	4'13"12	2	
4	旭丘高(髙野)	4'26"76	3	

予選D

1	旭丘高(加藤)	4'35"59	4	
2	名古屋工業大(海津)	3'30"62	1	→準決勝
3	海陽会関西(吉田)	3'47"23	2	
4	南山大(岩橋)	4'02"57	3	

M1 x

予選E				
1	南山大(牧野)	4'33"07	4	
2	愛知教育大(辻)	3'49"12	1	→準決勝
3	名古屋工業大(小池)	3'55"09	2	
4	旭丘高(宮本)	4'30"50	3	
敗復F				
1	旭丘高(宮本)	4'23"08	2	
2	海鷗会関西(吉田)	3'51"13	1	→準決勝
3	旭丘高(髙部)	4'28"14	3	
4	南山大(小野田)	4'41"88	4	
敗復H				
1	旭丘高(加藤)	4'46"43	3	
2	南山大(梶田)	4'04"38	1	→準決勝
3	大同工業大(水谷)	4'16"50	2	
敗復I				
1	旭丘漕友会(佐分)	4'48"59	3	
2	南山大(岩橋)	4'06"51	1	→準決勝
3	南山大(後藤)	4'10"65	2	

W1 x

決勝A				
1	南山大(加藤)	5'04"62	5	
2	名古屋大(清水)	4'52"84	4	
3	旭丘高(久保)	4'40"61	2	
4	南山大(山本)	4'44"44	3	
5	愛知教育大(神谷)	4'23"96	1	
決勝B				
1	南山大(山本)	4'45"26	3	3位
2	愛知教育大(神谷)	4'26"49	1	優勝
3	南山大(加藤)	5'05"83	5	
4	名古屋大(清水)	4'57"93	4	
5	旭丘高(久保)	4'44"28	2	2位

■第39回愛知県高校新人戦 (愛知・愛知池 1000M)

M4 x +

予選A				
レーン	クルー名	タイム	着順	
3	猿投農林高B	3'38"97	2	
4	豊田北高A	3'43"68	3	
5	旭丘高	3'28"65	1	→決勝
決勝D				
2	猿投農林高B	3'45"80	4	
3	旭丘高	3'34"10	2	→中部選抜
4	猿投農林高A	3'29"61	1	→中部選抜
5	真郷高	3'43"41	3	
6	豊田北高A	3'55"24	5	

M2 x

予選A				
1	猿投農林高B	4'21"34	3	
2	旭丘高	3'37"21	1	→決勝
3	豊田北高A	4'14"55	2	
決勝D				
3	豊田北高A	4'15"80	4	
4	猿投農林高A	3'50"58	2	→中部選抜
5	旭丘高	3'37"25	1	→中部選抜
6	猿投農林高B	4'11"30	3	

予選A				
2	真郷高D(渡)			棄権
3	旭丘高B(加藤)	4'32"21		4
4	豊田北高A(瀬戸)	4'29"06		3
5	猿投農林高A(岩月)	3'47"37		1
6	東郷高B(石川)	4'27"58		2
予選B				
2	豊郷高C(坂野)	4'39"81		4
3	豊田北高B(松沢)	5'17"21		5
4	旭丘高A(宮本)	4'25"13		2
5	東郷高A(野々山)	4'33"81		3
6	猿投農林高B(江川)	4'19"64		1

敗復C				
2	東郷高C(坂野)	4'26"46		2
3	旭丘高B(加藤)	4'33"88		3
4	豊田北高A(瀬戸)	4'44"48		4
5	東郷高A(野々山)	4'26"29		1
6	豊田北高B(松沢)	5'10"17		5
決勝H				
1	東郷高C(坂野)	4'30"67		5
2	東郷高B(石川)	4'28"28		4
3	猿投農林高B(江川)	4'24"06		3
4	猿投農林高A(岩月)	3'50"82		1
5	旭丘高A(宮本)	4'17"98		2
6	東郷高A(野々山)	4'36"98		7
7	旭丘高B(加藤)	4'33"93		6

予選B				
3	東郷高C(前出)	4'57"74		3
4	東郷高A(久保)	4'36"39		1
5	旭丘高(久保)	4'46"80		2
6	猿投農林高B(宮下)			除外
決勝D				
1	豊田北高(小林)	5'02"63		6
2	旭丘高(久保)	4'56"12		5
3	東郷高A(松岡)	4'44"60		2
4	猿投農林高A(牧瀬)	4'30"24		1
5	真郷高B(仲矢)	4'52"31		4
6	猿投農林高B(宮下)	4'45"24		3
7	東郷高C(前出)	5'04"33		7

予選A				
レーン	クルー名	タイム	着順	
1	八尾高	3'15"20	3	
2	美方高	3'14"35	2	→準決勝
3	新潟南高A	3'18"48	4	
4	二俣高	3'14"09	1	→準決勝
5	七尾高	3'30"46	6	
6	旭丘高	3'20"29	5	

予選A				
レーン	クルー名	タイム	着順	
1	八尾高	3'15"20	3	
2	美方高	3'14"35	2	→準決勝
3	新潟南高A	3'18"48	4	
4	二俣高	3'14"09	1	→準決勝
5	七尾高	3'30"46	6	
6	旭丘高	3'20"29	5	

■第19回 中部高校選抜大会 (愛知・愛知池 1000M)

M4 x +

2005/10/15-16

敗復D					
1	新潟南高B	新潟2	3'35"31	5	
2	旭丘高	愛知2	3'21"40	2	→準決勝
3	八尾高	富山2	3'17"30	1	→準決勝
4	猿投農林高	愛知1	3'22"76	3	→準決勝
5	七尾高	石川1	3'30"18	4	
6	宮川高	三重1	3'47"55	6	

準決勝G					
1	新潟南高A	新潟1	3'18"96	4	
2	大沢野工業高	富山1	3'20"66	5	
3	諏訪清陵高A	長野1	3'12"88	1	→決勝
4	二俣高	静岡1	3'15"30	2	→決勝
5	八尾高	富山2	3'16"41	3	→決勝
6	旭丘高	愛知2	3'21"02	6	

M2 x

予選B					
1	東濃実業高	岐阜2	3'33"95	4	
2	津幡高	石川2	3'44"04	6	
3	旭丘高	愛知1	3'27"59	3	
4	天竜林業高	静岡1	3'18"30	2	→準決勝
5	阿賀黎明高A	新潟1	3'17"85	1	→準決勝
6	八尾高	富山2	3'40"28	5	

敗復D					
1	岡谷南高	長野2	4'11"44	6	
2	小松高	石川1	3'31"58	3	→準決勝
3	旭丘高	愛知1	3'25"20	1	→準決勝
4	諏訪清陵高	長野1	3'32"88	4	
5	津幡高	石川2	3'38"43	5	
6	恵那高	岐阜1	3'28"00	2	→準決勝

準決勝G					
1	大沢野工業高	富山1	3'31"91	4	
2	猿投農林高	愛知2	3'37"68	6	
3	天竜林業高	静岡1	3'19"26	1	→決勝
4	美方高	福井1	3'23"52	2	→決勝
5	旭丘高	愛知1	3'27"73	3	→決勝
6	東濃実業高	岐阜2	3'33"17	5	

決勝H					
1	美方高	福井1	3'20"65	2	→全国選抜
2	沼津東高	静岡2	3'23"06	4	→全国選抜
3	阿賀黎明高A	新潟1	3'16"23	1	→全国選抜
4	天竜林業高	静岡1	3'27"19	6	
5	恵那高	岐阜1	3'24"63	5	→全国選抜
6	旭丘高	愛知1	3'22"38	3	→全国選抜

M1 x

予選B					
1	旭丘高(宮本)	愛知2	4'14"37	6	
2	加茂高(山口)	岐阜2	3'53"33	4	
3	美方高(今安)	福井1	3'48"23	2	→準決勝
4	二俣高(孫六)	静岡1	3'47"45	1	→準決勝
5	小松高(若本)	石川1	3'49"57	3	
6	大沢野工業高B(内配)	富山2	3'57"90	5	

敗復E					
1	岡谷東高B(加藤)	長野2	3'50"57	5	
2	加茂高(山口)	岐阜2	3'43"28	1	→準決勝
3	小松高(若本)	石川1	3'43"57	2	→準決勝
4	阿賀黎明高B(平林)	新潟2	3'45"26	4	
5	美濃加茂高(佐伯)	岐阜1	3'44"80	3	→準決勝
6	旭丘高(宮本)	愛知2	4'06"75	6	



2005年12月23日、中川運河 艇庫前の珍しい雪景色

### 「漕友」の原稿募集

「漕友」の原稿を募集しています。文章や写真に限らず、新聞や雑誌で見かけたボートに関する記事などの紹介でも結構です。幹事まで送って下さいますようお願い致します。